

[大城 勝議員 登壇]

○3番 大城 勝君 3番、大城 勝です。だいたい私は、1回目から3番手を望んでいました、3番手というのは午後の1番手だということで計画を立ててやっているのですが、どうも今回は朝の時間帯で組まれることになりました。午前中で終わりたいと皆さんもそう願っていると思いますので、ご協力いたします。4つの大きな質問をいたします。その1つ、児童生徒の安全な通学のための徒歩登校推進ボランティアの養成を（1）町立の幼稚園・小中学校児童生徒の徒歩登校の実態はどうか。（2）交通安全面や不審者などへの不安から、車で送り迎えしている保護者もいると聞くが、児童生徒の徒歩登校について町行政はどのような認識か。（3）徒歩登校推進のためのボランティアを育成できないか。そのための養成講座などを開講し、町民の交通安全意識を高められないか。

2. 役場庁舎内に総合案内所の開設を（1）来庁する住民がより利用しやすく、親しみやすい役場にするために、役場1階ロビーに総合案内所を開設できないか。

3. 町立幼稚園が行う「せいかつはっぴょうかい」について（1）「せいかつはっぴょうかい」とは、どのような催しとしての認識か。（2）各幼稚園の「せいかつはっぴょうかい」の出し物を、中央公民館大ホールで一堂に会し全町民に披露する仕組みが作れないか。

4. 町内の運動公園のウォーキングコースをゴムチップ舗装に（1）黄金森陸上競技場外周のウォーキングコース900メートルが快適ロード（ゴムチップ舗装）に整備されたことを評価したい。健康的な町・南風原町のイメージアップに効果があると考えます。整備に至る経過を知りたい。（2）町内の他の近隣公園のウォーキングコースの整備状況はどうなっているか。（3）町民への快適ロード利用への呼び掛けはどのようにしていくか。ご答弁をよろしく申し上げます。

○議長 宮城清政君 教育長。

○教育長 赤嶺正之君 大城 勝議員のご質問にお答えいたします。質問事項1（1）でございますが、平成28年度小学校五年生、中学校二年生を対象とした調査によりますと、本町の徒歩登校率は小学校五年生男子80.5パーセント、女子72.7パーセント、中学校二年生男子78.6パーセント、女子81.3パーセントとなっております。沖縄県平均値と比較しおおむね高い率となりますが、全国平均値と比較し小学生は低く中学生については高い状況であります。

（2）でございます。教育委員会では徒歩登校について集中力が身に付く、地域との交流ができる、体力の向上につながる等々の意義があると認識しており徒歩登校を推進しております。また、徒歩登校を推進するために、「はえばるがんばる登校」と徒歩登校のネーミングも定めております。

（3）でございますが、現在、本町においては各学校でPTAや老人会の協力を得て登下校の安全確保に努めております。今年度に各小学校で交通少年団を結成し、児童自ら交通安全意

識を高めていけるよう与那原署と連携し取り組んでいます。ご質問の徒歩登校推進のためのボランティアについては、PTAや老人会の方々と連携を密にし交通安全意識を高められるよう取り組んでまいります。

質問事項3. 幼稚園が行う生活発表会に関するご質問でございます。(1)「せいかつはっぴょうかい」は、広く幼稚園の教育活動を保護者・地域へ公開し、友達と一緒に表現活動を楽しむこと、自信を持って人前で発表する喜びを味わうこと、幼児が課題意識を持ち自分なりの力を発揮すること、学級や園全体の共通テーマを友達と力を合わせてやり遂げることをねらいとして、小学校における学芸会や学習発表会に当たるものとして認識をして開催しております。

(2)でございますが、「せいかつはっぴょうかい」は、町学力向上推進実践発表会と一緒にひろく幼稚園の教育活動を保護者・地域へ公開することを目的に実施しており、各幼稚園の設営における子どもたちが育っている環境を見ていただくこともできますので、各幼稚園又は小学校での開催が望ましいと考えております。以上でございます。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の役場庁舎内に総合案内所の開設をについてお答えします。現在、総合案内としての役割は、庁舎入口に最も近い窓口の住民環境課が担っており、来庁者への対応を行っております。今後とも総合的な案内を、分かりやすくするための工夫を行い来庁者が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

質問事項4点目の町内の運動公園のウォーキングコースをゴムチップ舗装に(1)についてお答えします。本町では、平成12年に神里ふれあい公園にゴムブロック舗装を施し好評でありました。その後、黄金森公園についても近年の健康ブームによりウォーキングで利用する町民が増えていることから、町民ニーズに応えるとともに健康づくり促進に向けた取り組みが必要であると考え、ウォーキングに適したコースとしてクッション性が高く足腰に与える衝撃が少ないゴムチップ舗装によるウォーキングコースとして整備に取り組んでいます。ゴムチップ舗装は、奥武山公園、県総合運動公園など県内各地で採用されております。

(2)についてお答えします。町内では黄金森公園の他、神里ふれあい公園においては平成24年度施工で280メートル、平成29年4月開園予定のウガンヌ前公園で220メートルのゴムチップ舗装を行っております。また、現在整備中の津嘉山公園においてもゴムチップ舗装を予定しております。

(3)についてお答えします。公園の供用開始などに合わせて、ホームページや広報誌等で利用の呼び掛けをしてまいります。以上です。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ご答弁、どうもありがとうございました。それでは、再質問をさせていただきます。町立の幼稚園・小中学校児童生徒の徒歩登校の実態はどうか、それとどのように認識しているかという質問でご答弁をいただきました。私は、毎朝、照屋交差点で子どもたちの登校する姿を見ていますが、翔南小学校へ徒歩で通う子どもたちは多いと見ています。ご答弁でも70から80パーセントの数字でした。どうもありがとうございました。「はえばるがんばる登校」のネーミングで徒歩登校の推進に当たっているとのご答弁でした。たまに翔南幼稚園・小学校校門まで足をのぼすことがあります、その校門前での挨拶の運動にも活気があり、その運動は徒歩登校をしている生徒たちの元気を更に盛り上げています。学校独自の取り組みでしょうが、子どもたちの情操教育上からも評価できると思いますし、今後も続けて欲しいと願っています。

ところで、徒歩登校をすることは教育的面からも大きなメリットが言われています。答弁にも集中力が身に付く、それから地域との交流ができる、体力の向上にもつながるとありました。車利用が避けられない状況の場合は別として、父兄へ徒歩登校への啓もうに努力する流れを作って欲しいと願っています。

次に、徒歩登校推進のためのボランティアを養成できないか。そのための養成講座を開講し町民の交通安全意識を高められないかということですが、各学校に組織化されている学校支援ボランティア団体のメンバーを対象に養成講座を開講してみても良いと思います。また、ややもすると家に籠りがちとなる高齢者が、毎朝の児童との徒歩登校を生活の中に組み込むことは高齢者自身の生活の質を高めて生きがいくくりにもなると考えています。毎朝のボランティア活動が高齢者の健康増進にもなるのは明らかで、老人会組織と連携した取り組みは取りやすいと考えます。行政がその仕組みづくりをするために、ボランティアを育成する養成講座を開く流れを作ればよいと思います。養成講座の内容としては、例えば1つ目に老人が交通事故に遭う事例が増えていることから高齢者と交通安全についての内容。2つ目に横断歩道での交通安全指導の在り方。3つ目に今どきの子ども事情などをその内容として取り上げたいと思います。町内各学校児童の徒歩登校を実効性あるものとしよりしっかりとしたものにするためにも、ボランティア育成の養成講座を開講することを改めて要望したいと考えますが、答弁もそれに沿った内容で、PTAや老人会と連携を密にして交通安全意識を高められるようなやり方で取り組んでいくとのことでありました。どうもありがとうございました。

さて、先日、南風原町老人会では、子どもたちの登下校の安全を守る地域見守りパトロールの報告会がありました。私もその会に参加して思ったことは、地域の子もたちは地域の力で守ることが直に伝わったことでもあります。地域が一丸となれば、交通安全・不審者への対策にも大きな力を発揮できると確信できる報告会であったと感じました。この報告会には町長も参加されていました。挨拶を述べられましたが、子どもの徒歩登校についてのお考えをお聞かせ願えませんか。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 お答えします。勝議員には、前々から子どもたちの交通安全のため朝の交通指導を行っていることに對し有難く感謝申し上げます。子どもたちは皆の宝です。家庭だけではなく地域全体、南風原町の未来を担う子どもたちに対して目配り、気配りしていくのも私たち大人の地域の務めではなかろうかと思っております。今、学校のPTAの皆さん方、老人会が見守りパトロールをさせていただいていることに對し本当に有難く、父兄の皆さん方も交代制で横断歩道や信号機がない所においても交通指導をなさって皆が協力し合いながら地域の子たちは皆で守っていかうとしておられ、それにまたできるだけ子どもたちは徒歩で学校に登校しようという徒歩登校できるような環境にするためには皆で目配りをしていかなければいけないのではないかと思っております。なかには遠いが故に車で送っていらっしゃるのも見しております。今は車社会でそうなっておりますが、以前は100パーセント近く徒歩登校だったと思っております。私たちも徒歩で学校に登校した経緯がありますが、今は社会状況が交通安全の視点から車が多い状況を見ているとそういう場合もあろうかと思うのですが、しかしながら地域の老人会やPTAだけに頼るのではなくて仕事を終えた方、時間がある方においては皆が自宅の近くで子どもたちが通って行く姿を見ることも私は大きな役目につながるのではないかと思っております。朝の時間帯、ご先輩の方々には仕事がゆっくりであれば、登校時間において自分の時間のある限り自らの周辺だけでも見守りすることも大事なかと痛感しております。ぜひ南風原町全体がこういう意識高揚をし、皆でムードを作り上げていくように私もやっていきたいと思っております。地域全体、町全体どこへ行っても誰かが立って指導なさっていると言えるような環境に持っていければ有難いと、こういう環境づくりのために私も全力を尽くしてまいりたい。先だって地域の老人会で見守りをなさっている方々の意見発表があることに對しても期待しておりましたが、次の時間と重なって私も教育長、議長も中座したことを申し訳ないと思いつつ、町全体皆が関心を持てるような環境づくりに努めてまいりたいと思っております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。私は一昨年の8月から2カ年半にわたって交通安全（指導）をやっていますけれども、その意識をもっと高めて、今の町長のお話を励みとしてがんばっていきたいと思います。

次の再質問に移ります。来庁する町民がより利用しやすく親しみやすい役場にするために、役場1階ロビーに総合案内所を開設できないかですが、高齢者や障がいをお持ちの方、町外から初めての来庁者にとって、庁舎入口を入ると歩み寄って来る案内人に住民も気持ちが楽になるはずで、自動書類発行機の扱い方が不案内でも案内人が身近におればすぐに対応ができます。

ところで、現在住民が役場に来られて分からないことがあれば、近い所の窓口業務職員に対応してもらっていることについて町民からは丁寧な対応との評価を得ていることは聞き及んでおります。私自身も庁内ロビーに入ると、職員のできばきとした動き、感じの良い住民対応をしているのにはチバリヨと声を掛けたい気持ちでおります。実際にチバリヨと声を掛けましたら、向こうはきょとんとしておりましたけれどもね。今度からは、がんばれと声を掛けます。私は、総合案内所を置く最大の意義は南風原町役場にお出でになられた住民の方におもてなしの心を持って接して差し上げますよとのメッセージを感じ取ってもらえることにあると思います。ただ単に総合案内所を設置すれば機能的に事務処理がスムーズに進むからということだけではなく、その案内所が南風原町行政の住民へのホスピタリティ・思いやりの在り方を示すことにあると思うのです。答弁では住民対応はできているとのことでしたが、思いやりの心を持って住民サービスに徹せよと日ごろから職員に接しておられる町長だということこれは私の認識ですが、総合案内所の開設を含めて思いやりの心を持った住民サービスの在り方への日ごろのお考えをお聞きできればと思います。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 新垣吉紀君 お褒めいただき、ありがとうございます。手前味噌になろうかと思いますが、窓口配置されている職員には日々よくやっていると私たちも思っております。また、何か指摘があればどんどんご意見、ご提案もいただきながら改善、改革もしてまいりたいと思っております。総合案内、フロア係のような、以前はよく銀行でお見受けしたのですがそういった方をイメージされているかと思うのですが、われわれも行革とか課の配置等々含めて時代に合ったどのような配置がいいのか、おおむね3年前でしょうか25年度から住民届をしたら国民健康保険の手続きができて児童手当関係とか保育所も手続きができるような配置替えといった、来庁者にとってワンストップサービスと言いますかそういったものも意識して事務所管替えなども含めて随時検討はしています。議員ご質問の思いやりの心でおもてなしということでございますので、今は住民環境課が担っていると最初の答弁でもお答えしたとおり全職員含めて、役場にはたまにしか来られないと思いますので迷うことなく来庁した目的が達成できるよういろいろな角度で窓口対応の改善も含めて、停滞するのではなく常々改善しながら対応していきたいと思っております。ということで、現在のところ今の状況で対応して、今後はご意見を伺いながらいろいろな在り方を検討してまいりたいと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。私は町長からの答弁を期待していたのですが、いつかまたお答えください。

次に、町立幼稚園が行う「せいかつはっぴょうかい」についてです。昨年の12月18日、私は翔南幼稚園の学校評議員として「せいかつはっぴょうかい」に参列させていただきましたが、10ほどの園児たちによる発表がありました。その演技はとても4歳、5歳児とは思えない素晴らしいもので、大人の皆さんが鑑賞するに不足ない内容でありました。私は、翔南幼稚園の「せいかつはっぴょうかい」だけしか見ていませんが、聞くところによりますと他の幼稚園も切磋琢磨してそれぞれが素晴らしい「せいかつはっぴょうかい」だと聞いています。この発表会で幼稚園園児の演技をとおして、全町民が中央公民館で観ることで、町民同士の一体感も生まれ、ひいては町発展にもつながると私は考えています。また、園児たちにとってもそれぞれの幼稚園の舞台から大きく広い黄金ホールという大舞台となり感動も一段と大きくなると思います。保育園から幼稚園へと成長していく過程で、幼稚園は学校教育課程の入口であります。その入口でそれぞれの園児が大きく感激を味わう機会を得られることは、これからの学校生活をする上において大きくプラスになると考えます。町行政には、ぜひとも園児が広い所で発表する場を作って欲しいと思います。先ほどの答弁でも「せいかつはっぴょうかい」についての認識は良しと見るとの答弁ですので、どうかこの催しが別の形で開催できるよう知恵を絞って欲しいと考えますが、答弁は一堂に会してではなく、各幼稚園での開催が望ましいとありました。一堂に会すると規模の問題があるのか、そこをもう一度答弁お願いします。

○議長 宮城清政君 教育部長。

○教育部長 宮平 暢君 それでは、お答えいたします。ただいまの幼稚園の「せいかつはっぴょうかい」は、幼稚園園児の増によりまして南風原幼稚園、津嘉山幼稚園、北丘幼稚園、翔南を除く3園においては園舎内ではできなくて小学校体育館を使っております。園児が多い所では160名ということから、保護者もその4倍が来ますので、現在体育館でも1校当たりかなり満杯になっております。そのため、4園合同となりますと黄金ホールでもキャパが足りなくなりますので、これまでどおり小学校体育館を活用しての発表会になるものと考えております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。キャパシティがどれぐらいかという話なのですが、黄金森陸上競技場を使ってもいいじゃないですか、というのが今思いついたことですがどうか知恵を出し合ってやって欲しいと思います。

次に、町内運動公園のウォーキングコースをゴムチップ舗装にということですが、ゴムチップ舗装形態のウォーキングコースですが、緑色舗装で柔らかな草の上を歩いているような感覚になって、私自身は良いと感じます。再質問ですが、野球場裏の今整備中の遊歩道も含めると総延長距離いくらのウォーキングコースになるのかお答え願えますか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 再質問にお答えいたします。今整備中の多目的広場園路のことでしょうか。手元に資料がなくて把握しておりませんが、今整備している多目的広場の一周園路につきましてもゴムチップ舗装を予定しております。ただ、延長については今把握しておりませんので答弁できませんけれども、整備は予定しているということでございます。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 総延長はあとで教えてください。陸上競技場の周囲が600メートル、野球場の周囲が300メートル、合わせて900メートルです。私はこの600メートルを8分間で歩きます。ジョギングをやる人からすれば、非常に遅いでしょうね。私もそういうふうにして外周のウォーキングコースを楽しんでいますが、町民の声として歩きやすい足・膝に負担がかからないと話を聞いています。町民の利用者が増えて欲しいと思いますが、どのようにして町民に知らせるか。答弁にもありましたように、町民にひろく知ってもらうためにホームページや広報を使う手もちろんありますが、実際にその良さを体験してもらうためにウォーキング大会を開催してみてもどうかと思いますが、どうでしょうか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 ゴムチップ舗装のウォーキングコースを利用したウォーキング大会ですけれども、確かに議員おっしゃるようなこういう大会をすれば町民の方々に良さを分かってもらえるかと思っておりますが、すぐにはできませんが今後検討するとして良いことだと思っております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 答弁、ありがとうございました。ちむぐくる館で運動に励んでいる町民にも、屋外でやるウォーキングの良さを勧めてみても喜ばれると思います。町行政は、町民の多くがこのウォーキングコースを活用できるよういろんな手を使って宣伝して欲しいと考えます。

ところで、このウォーキングコースは健常者だけが活用しているわけではありません。3日前ですけれども、視覚障がいの方とお話しする機会がありました。ヘルプする人のウォーキングもしやすいとの声がありました。これからも整備される同様ウォーキングコースにおいても、弱者の声を拾い上げてさすが福祉行政がうまく機能している評価がされるよう

がんばって欲しいと思います。身体的弱者に配慮したウォーキングコースの整備をと考えますが、それについて執行部の考えを伺いたいと思います。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 金城敬宝君 ご提言、どうもありがとうございます。確かに公園は、健常者だけではなくて障がいの方も利用されるわけですけれども、公園を整備するにあたってはそういった方々の障害にならないようにスロープを何パーセント以内とか段差は何センチとかそういう規定はございますけれども、声を拾うと言いますか設計の段階においてもそういった方々の意見も聴取して設計に入れていきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 ぜひお願いします。最後に、町長には新設されたウォーキングコースにどのような思いをお持ちかぜひお答え願います。

○議長 宮城清政君 町長。

○町長 城間俊安君 勝議員においては、町民の健康のまちとして推進していこうという思い、ありがとうございます。私もスポーツは大好きで、ウォーキングも大好きです。勝議員がおっしゃる足への負担を少しでも和らげるためのチップだと思っております。南風原町で最初に手掛けたのは神里ふれあい公園です。これは良いなど、こういうふうにやればご先輩の皆さん方の足腰への負担を最小限にすることができる、そこで町全体に広めていこうという思いがありましたが、四角のチップでしたのでこれがまた乾燥してでこぼこになったものですから、これを見直して今はきれいな形になっております。そういうものにすれば負担が軽減されより健康的に歩こうという思い、そしてまた町民の皆さん方も神里ふれあい公園、黄金森公園、できれば次に宮城公園、町内の公園には進めていきたいと思っております。地域の皆さん方に喜ばれるように、ウォーキングしやすいような、歩くことは大切ですが今の車社会においては公園内できれいな空気を吸いながら足腰の鍛錬につながるよう、そしてウォーキングするなかでいろいろな方との触れ合い、交流の場にもなろうかと思っておりますので今後も奨励してまいります。また、黄金森公園を中心に小学校の皆さん方がかすり駅伝をやっておりますので、このときはご父兄も参加しています。あるいは新春マラソンの時、子どもたちの姿を見て親も歩いてみようという関心を持つというように思いがつながっていくよう、健康・交流の場になっていけるよう率先して進めさせてもらいたいと思っております。勝議員が率先して実践していることに対し感謝申し上げたい。ぜひこれからもいろいろなご提言、ご指導をお願いしたいと思っております。本当にありがとうございます。



平成29年第1回一般質問1日目

○議長 宮城清政君 3番 大城 勝議員。

○3番 大城 勝君 どうもありがとうございました。町行政には、今後とも健康のまち南風原を発信していってほしいということで私の質問を終わります。